

自治会加入促進のための手順案

地域の連帯感が希薄化している昨今、自治会に加入されていない世帯や脱会を希望される世帯の増加など、役員の方々は頭を悩ませておられることと思います。

自治会への加入は任意ですが、住みよい地域、誰もが安心して暮らせる地域をつくっていくために、住民の少子高齢化が進む今だからこそ、地域におけるつながりが重要であると考え、本手順案を作成いたしました。

皆さまの自治会で参考にさせていただき、加入促進の一助となれば幸いです。

1. 未加入世帯の把握

未加入世帯への加入促進に取り組む前に、自治会の会員名簿や組長などからの情報をもとに、未加入世帯が何世帯あるかを把握しましょう。

2. 訪問の準備

未加入世帯に加入していただくためには、自治会でどのような活動をしているのか、加入することでどんなメリットがあるのかを説明する必要があります。そのために準備しておくものを例示します。

- 自治会規約（会則）
- 自治会事業一覧（年間でどんな事業をしているかがわかるもの）
- 予算書もしくは決算書（お金の使途がわかるもの）
- 自治会役員名簿（身近な窓口となる組長もお知らせした方が良いでしょう）
- 加入促進チラシ
- 加入申込書
- その他、作成されている広報紙（〇〇自治会だより等）など

自治会の魅力が伝わるような資料を準備しましょう。

また、準備をしながら日頃の活動を振り返ることで、自治会活動を見直すきっかけにもなります。



じょうりんちゃん

3. 訪問

準備が整ったら、加入促進に向けて、いざ未加入世帯への訪問です。未加入世帯が多い自治会の場合、各戸を訪問するのは大変な作業です。役員一人に負担がかかることのないよう協力し合いましょう。また、一度にやろうと思わずに、時間をかけてでも負担のない範囲で訪問していきましょう。

【訪問人数】

2～3人（会長や役員と、その地区の班長など）

※1人では信頼性が薄く、質問に答えられないこともあると思います。一方、大人数では圧迫感を与えかねないので、数人で訪問するのが良いでしょう。

【訪問時期】

○新規転入者・・・居住開始後、間を置かずに訪問

○既居住者・・・年度初めやイベント等の開催時にあわせて訪問

【持参するもの】

- ・上記「2. 訪問の準備」に例示したもの
- ・その他、あれば今後開催予定の行事のチラシなど

【訪問の手順】

「こんにちは。突然の訪問ですみません。私たちは、この地区の〇〇自治会の役員の〇〇と申します。地域にお住まいのみなさんに、自治会に入っただけお伺いいたしました。少しだけお時間をいただいてもよろしいでしょうか」

お忙しくされている場合には、改めて訪問させていただくため、ご都合の良い日程や時間帯などを聞き取り、後日再度訪問する

「私たちの自治会では、誰もが住みやすいまちづくりを目指して、様々な活動をしています」

(例として、自治会の主な活動を説明する)

- ・防犯活動…街灯の設置や維持管理、見守り活動など
- ・防災活動…校区防災訓練への参加など
- ・環境整備…ごみステーションの管理、道路整備等の市への要望など
- ・親睦活動…夏祭り、神輿巡礼、運動会、親睦旅行など
- ・関連組織について…子ども会、高齢者クラブなど

「ご参考までに、会則や事業一覧などをお渡しさせていただきます。ぜひご検討ください」



じょうりんちゃん

加入を強制するような呼びかけではなく、
親切な説明を心がけましょう。

質問に答えられない場合も、「一度確認し
て後日お返事いたします」と言うなど、丁寧
に対応することが信頼へつながります。

◆その場で加入を希望された場合

- ・加入申込書に記入していただき、受け取って帰る
- ・その際、今後の連絡先として、会長をはじめとする役員、一番身近な存在となる組長（班長）などを伝えておく

◆加入について検討される場合

- ・加入申込書を渡し、担当者の連絡先を伝え、「ご検討よろしく願いいたします。また、何かご質問などがあればご連絡ください」と言って帰る

⇒数日待って連絡がなければ、再度訪問し、加入の意思を確認する

◆加入について迷われている場合

- ・誠心誠意相談に乗りながら、疑問点や不安に思われている点の解消につとめる

◆頭ごなしに自治会を否定される場合

- ・過去に苦い経験をされた方かもしれないので、まずはご意見を一通りお聞きし、理解できる部分については共感・同調する
- ・次に、この地区の状況を話し、今後の自治会活動に協力していただきたい旨を伝える

◆どうしても加入していただけない場合

- ・「また来年お伺いします」と言って、一旦打ち切る
※来年の訪問時のために、加入されない理由などを記録しておく

4. アフターフォロー

呼びかけに応じて自治会員となっただけいただいた後も、その方が地域に早く溶け込むことができるよう、支援を怠らないようにしましょう。身近な班長（組長）などが、周辺住民との間をとりもったり、何か不安に思われていることがないか、時々声をかけてあげるのも良いでしょう。

★アパート・マンション居住者の加入に向けて

アパート・マンション居住者に対する加入の呼びかけをされる場合、

- 短期居住者であれば、準会員や会費の減額を検討する
- オーナーに一括して会費を納めていただき、マンション単位での加入とする
- マンション単位で自治会の設立をお考えの場合、市の窓口を案内する

などの対応も考えられます。

★外国人への加入呼びかけについて

市内には、多くの外国人が暮らしています。外国人の自治会への加入は行事を国際色豊かなものとしします。

また、ごみの出し方や騒音の問題など日本での生活ルールをきちんと理解してもらったり、防犯・防災活動などで協力してもらうことにもつながります。

地域で生活する一人として、参加してもらえよう呼びかけましょう。